



火山の爆発は予測不能、大爆発したら原発は・・・

トンガの海底火山の爆発にはとても驚かされましたね。

分らない事だらけ

今回の噴火の何日か前の噴火について、今になって「あれは予兆だった」と云われる。

奄美大島で1.2mの潮位変動が発生したのは通常の津波予測より二時間半も早かった。未知の現象だった。

トンガの噴火が終わっても、そこが陥没して大きなカルデラになるかも知れない。その時には、とてつもない津波が発生する。

又、一八八八年に山体崩壊した磐梯山と同じように富士山が爆発してもおかしくない。

このように、噴火の事も、潮位変動の事も、カルデラの事も、分からないことだらけ。

日本には巨大なカル

デラを形成した火山が幾つもある。九州には阿蘇、始良、鬼界などがある。

今回のトンガの噴火は、日本の巨大火山が巨大噴火をいつ起こしてもおかしくない事を証明したのではありませんか？

原発の安全は

「阿蘇が大噴火したら伊方原発は福島のような原発災害を起こす」と再稼働停止を求めた裁判で、広島高裁は昨年三月「噴火が原発の安全性に影響を及ぼす可能性が高いとは云えない」とした。

しかし「阿蘇がいつ巨大噴火をしてもおかしくない。安全性に影響を及ぼす可能性が高い」と云うべきだったのではありませんか？

あなたは どう思われますか？

何これ？ 防風壁！

横浜市南区平楽

中丸バス停より
二〇二二年一月



港の見える丘から尾根道をたどりニキロ余り西に進むと、平楽と云う地域。その中丸バス停の所に青や緑のタイルを貼った塀がある。

この塀の裏は急斜面なのでランドマークタワーなど横浜港方面が良く見える。

しかし、この斜面は北向き。冬には季節風が吹き上げる。バスを待つ身にはつらい。

そこで一九八四年にこの防風壁を設置。

この壁の右端を回った急な階段の下は蓮池坂。そんな事情で壁に蓮の葉をモチーフにしらったそうだ。

うねっているのは横浜の海の波のうねりだろうか？

この日も北風が吹いていたが、バスを待つ人には余裕が感じられた。

「みなみ歴史とまちなみ散歩道」参照

